

## デジタル技術を用いた比較考古学

### A. メンバー

【事業推進担当者】 和田晴吾

【学内研究協力者】 矢野健一、塚本敏夫、南部裕樹、崔栄柱

【その他】 劉振東、金斗喆

「棺と古墳」『古墳と石棺』 兵庫県生活文化大学・考古学講座、兵庫県芸術文化協会

・2011年9月25日(日)

「秋常山古墳群の歴史的意味」秋常山古墳群整備完成記念シンポジウム、石川県能美市・同教育委員会

・2011年11月2日(水)

「古墳の他界観—横穴式石室の世界を中心に」(2011年度史学研究会大会講演)史学研究会(京都大学)

・2011年11月26日(土)

「今城塚古墳と大日山35号墳の時代」『大王の埴輪・紀氏の埴輪—今城塚と岩橋千塚—』和歌山県立紀伊風土記の丘

・2011年11月27日(日)

「終末期の古墳」『卑弥呼と齐明天皇』(平成23年度弥生の里文化講座シンポジウム)奈良県田原本町立弥生の里

・2012年1月13日(金)-15日(日)

「古墳の構造と他界観」百舌鳥・古市古墳群世界遺産研究会・シンポジウム

### B. 研究目的

淀川流域を中心とする古墳時代の遺跡情報管理システムの構築をめざし、延いては古墳時代の総合的研究を推し進めることに目的があった。

### C. 本年度の成果

本年度までの成果に、若干の論考を加え、古墳時代の葬制に関する著書をまとめる予定でいる。

### D. 論文・学会発表以外の活動の記録

[講演]

・2011年9月9日(金)

### E. 業績一覧

#### 〈著書〉

和田晴吾, 広瀬和雄編『講座日本の考古学 第7巻 古墳時代〈上〉』青木書店, 513p., 2011年12月

#### 〈著書(分担執筆)〉

和田晴吾「古墳時代研究小史」和田晴吾, 広瀬和雄編『講座日本の考古学 第7巻 古墳時代〈上〉』青木書店, pp.54-99, 2011年12月

和田晴吾「考古学の魅力」ほか、和田晴吾、矢野健一、木立雅朗、高正龍、下垣仁志『考古学・文化遺産を学ぶ』立命館大学文学部日本史研究学域, p.1, pp.6-7, pp.40-42, p.49, p.61, 2012年3月30日

和田晴吾、下垣仁志「重要な研究課題と参考文献－弥生・古墳・飛鳥時代」, 和田晴吾、矢野健一、木立雅朗、高正龍、下垣仁志『考古学・文化遺産を学ぶ』立命館大学文学部日本史研究学域, pp.25-29, 2012年3月30日

#### 〈講演〉

和田晴吾「秋常山古墳群の歴史的意義」石川県能美市、能美市教育委員会「国指定史跡秋常山古墳群保存整備完成記念シンポジウム 秋常山古墳群—1600年の時を越えて—」寺井地区公民館（石川県、能美市）、2011年9月25日

#### 〈その他〉

##### 《雑誌》

和田晴吾「読書で人生を楽しんで」ライブラリー・ナビゲーター, 112, 立命館大学図書館, 2011年11月

和田晴吾「本の世界を旅しよう」ライブラリー・ナビゲーター, 113, 立命館大学図書館, 2012年3月

##### 《発表要旨》

和田晴吾「古墳の他界観—横穴式石室の世界を中心に」2011年度史学研究会大会講演要旨『史林』, 95, 1, pp.296-297, 2012年1月